

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年12月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671000315
法人名	医療法人 圭裕会
事業所名	グループホーム サンテ・ヴィラージュ
所在地	鹿児島県指宿市東方8110番地1 (電話) 0993-24-2355
自己評価作成日	令和元年11月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年12月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療連携病院の看護師と協力しながら、入居者の健康管理や異常の早期発見に努めている。終末期の入居者に関しては、看取り介護を行い入居者が住み慣れた空間でいつものスタッフと一緒に過ごすことで、残りの時間を安心して暮らせるように、家族やかかりつけ医の協力をもらっている。医療連携病院には、専門科が多数あり、早めの相談や対応ができています。特に口腔ケアにはかなり力を入れており、受診できない方には訪問歯科診療で対応している。散歩や外気浴などが、毎日の生活の一部となっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・運営母体の医療法人とは24時間医療連携体制が築かれており、事業所の看護職員による健康管理も日常的に行われている。看取り介護の実績もあり、利用者及び家族の健康・医療面における安心となっている。口腔ケアも充実している。
- ・自治会に加入し、地域行事及び事業所行事への相互参加による交流が行われ、中学生の職場体験・高校生の実習受け入れにも取り組んでいる。ボランティアで行事等での踊り・音楽等の演奏や毎朝の散歩にも参加してもらっており、通りがかりの住民と挨拶や会話の交流が行われている。
- ・「サンテ・ヴィラージュ便り」は、行事等の写真や報告だけでなく、利用者の事故・ヒヤリハット報告・運営推進会議報告・アンケート結果等、様々な運営に関する情報を掲載し、事業所から家族への周知が図られている。
- ・施設長や管理者は、職員の研修受講や資格取得を支援しケアの質の向上を図ると共に、就業改善や職場環境整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開所当時より、その人らしく自然の中で、地域の一員として暮らせることを理念に掲げ、全職員が理念を共有しながら、実践につなげている。	理念は重要事項説明書に記載する他、玄関や事務所・リビング・トイレ等の目につきやすい場所に掲示して全職員の共有化を図り、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の途中で話をしたり、近所の方が野菜を届けて下さったり、地区のふれあい運動会に参加したりして、交流している。	自治会に加入し、地域の運動会やもちつき大会に参加したり、事業所の敬老会や避難訓練には地域からの参加がある。ボランティア・中高生の実習生受け入れ・住民からの野菜の差し入れ等、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	業務に追われ地域に出向くことはできないが、運営推進会議等で、地域の方の相談を受けたりしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、状況報告や行事報告、事故報告など行い、問題解決やサービス向上に向け話し合い、意見や助言を頂いている。	2ヶ月毎の運営推進会議で、事業所のヒヤリハットを含めた状況報告と意見交換を実施している。地域の情報を得たり事業所への理解を深めてもらえる機会になっており、ホーム便りにも会議報告を掲載してサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議等で報告、相談など行い、必要時は電話や直接出向いて、相談を行い協力関係を築いている。	市の担当者とは、運営推進会議の意見交換や出向いての相談等で連携を図っており、生活保護担当者とも同様に協力関係を築いている。市主催の研修会にも参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会を開き、身体拘束をせず見守りができるように、全職員で取り組んでいる。玄関も夜間以外は施錠していない。入所者同士も見守りをして声を掛け合い、グループホーム全体で取り組んでいる。	指針を基に、委員会を3ヶ月に1回、研修会を年1回実施している。センサーマット使用やスピーチロックへの対応を検討する他、日中の玄関は施錠せず、外に出る利用者には見守りや散歩への同行等で拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行い、再確認しながら虐待防止に努めている。職員間でも自分たちの言動を注意し合い、精神的、身体的な虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会や研修等に参加し、学ぶ機会はあるが、まだ活用された方はいない。必要時は行政にと相談し、活用していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時に不安や疑問点を聞きながら、説明を行っている。不明な点は、後からも説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回の家族会や運営推進会議に交代で参加して頂き、意見や要望を聞く機会を設けている。また投書箱の設置や家族アンケート等実施している。要望は運営者に報告したり、職員間で話し合い、運営推進会議やホーム便り等で報告している。</p>	<p>利用者には、日常の会話で要望等を聞いている。家族には、運営推進会議や年2回の家族会・面会時に要望等を聞いており、年1回のアンケートも実施している。家族から運営推進会議録を欲しいとの要望があり、希望者には送付するようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>施設長も参加して、月に1回の全体カンファレンスで、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。</p>	<p>施設長・管理者は、カンファレンスで職員の意見等を聞く機会を設けており、看取り介護時の職員体制見直しについて出された要望を、訪問看護師導入に反映させている。個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎月の実績報告を行っている。時給を出し、資格取得や研修への参加を進めている。慢性的な職員不足ではあるが、職場環境や条件の整備を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月内部研修を開いている。また勉強会や研修への参加を進めている。資格取得のための研修や、外部研修へも交代で参加できるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会へ加入しているが、職員間の交流は少ない。管理者同士は交流の機会も多く、情報の共有など行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に訪問したり、ホームに来て頂き、本人の不安や困りごとを聞き、少しでも安心して入所して頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に家族と面談し、不安や困りごと、要望等に耳を傾け、少しでも安心して入所して頂けるような関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時家族や本人との会話で、必要としている支援を見極め、必要なサービスを受けられるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らすという意識を持ち、支援するばかりではなく、人生の先輩から学んだり、教え合ったり励まし合ったりして、喜怒哀楽を分かち合える関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の状況報告のお手紙を渡したり、面会時報告を行い、現状が伝わるようにしている。他病院の受診や衣類の入れかえ、自宅への外出等職員ではできないことは、協力を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力をもらいながら、墓参りや自宅への外出、親類や友人との交流など行っている。又友人やご家族等の面会時はお茶を出し、ゆっくり話をする場を設けている。	家族・知人の面会時にお茶を出してゆっくりしてもらったり、手紙や電話の取り次ぎ、これまでの関係が途切れないように支援している。家族の協力も得て、墓参りや外食・自宅訪問・美容院等に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者同士の関係をみながら、席の配置を考えている。入所者同士が声を掛け合い、見守りをする場面も見られる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院され退所されても、面会に行ったり、亡くなった場合もお通夜に参加したりしている。状況次第では、再入所できるよう支援している。退所された方のご家族が、訪ねて来られることも多い。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望を聞きながら行っているが、自分の意向を伝えられない方は、表情や本人の機嫌やそぶりを見ながら、意向の把握に努めている。	日常の会話で本人の思い等を把握できるように努めており、意思疎通が困難な場合は、家族の情報を参考にしたり、本人の表情や素振り等から推測して本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に担当者から連絡票をもらったり、本人や家族から経過を聞いている。その時分からなくとも、入所後に生活の中で、少しずつ把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の経過を記録し、職員間では、朝夕の申し送りやカンファレンスで情報を共有し、日々の変化に留意しながら、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンス時にケース検討を行い、意見を出し合っている。必要な関係者と連絡を取り、意見を反映しながら、介護計画を作成している。	担当者会議で、本人・家族・管理者等で話し合い、カンファレンスで職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、見直しは年1回及び状況変化等の必要時に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録に日々の様子を記録し、申し送りで情報を共有している。毎月のカンファレンスで、その時々の問題点や注意点を話し合い、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族や本人の状況に応じて、買い物支援や受診介助など、対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアを受け入れ、毎日の散歩等楽しませている。又防災訓練に協力して頂いたり、敬老会、車いすダンスなど楽しませている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を聞きながら、かかりつけ医を決めている。必要時はご家族の協力ももらい、専門医受診も行っている。	契約時に希望するかかりつけ医の確認をしている。家族の協力も得てかかりつけ医による定期受診・往診を行っており、事業所の看護師による健康管理も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の関わりで気づいたことは、ホーム内の看護師へ報告し、緊急時は連携病院の看護師と相談しながら、利用者が適切な医療や看護が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は付き添い、情報を伝えたり、介護サマリーを提出している。面会に行き状態をみたり、退院前はカンファレンス等に参加し、情報収集に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に大まかな終末期の希望を聞いている。心身の状態により入所継続が困難な時は、段階的に他病院の紹介や介護施設等の申し込みをお願いし、転所の手続きをとる場合があることを、説明している。状況に応じては、看取りを行っている。</p>	<p>契約時に重度化等の対応について説明している。状態により入院や介護施設等の選択についても説明している。重度化等の場合は、家族と管理者が同席して医師からの説明を聞き、家族の意向を確認して支援に取り組んでおり、看取り介護の事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急法の講習を受けたり、勉強会を開き、マニュアルの確認を行っている。又事故発生後は、再発防止に向け話し合いを設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の指導の下、避難訓練、通報訓練等行っている。地域住民の参加ももらい、非常時に備えている。外への避難だけでなく、地震や水害時の訓練も行っている。</p>	<p>消防署の立ち会いを得て、年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、住民の参加や自動通報装置に公民館長の登録がある。備蓄は、水・缶詰・レトルト食品等及びカセットコンロを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入室時のノックや声掛け、更衣やトイレ時のドア閉め等、日々気をつけながら行っている。また対応時の言葉使いなども、お互いに注意している。	研修を実施し、さん付けの呼びかけや入室時の声かけ、排泄介助時のさり気ない声かけ等の対応に気をつけている。申し送り等は、利用者に内容が分からないように工夫しプライバシーの確保をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各動作に際し、本人の体調や様子を見ながら声掛けをしている。本人の希望を聞きながら対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の流れに沿って、声掛けをし、その日の体調や様子を見ながら参加を促している。本人の意見を聞いているが、意思表示の少ない方は、職員の都合を優先してしまう場合もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行事やお出かけなど、その人に合わせたおしゃれができるよう支援している。また髪型や洋服の変化を誉め、おしゃれ心を失わないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	オープンキッチンでホールに流しがあるため、調理中の様子がわかり、匂いで食欲をかきたて、食事を楽しみに待てる環境にある。食後はお盆拭きをしてもらっている。	献立は、栄養士のものを参考にしている。個々に応じた食事形態で提供し、代替品の対応もある。誕生日のケーキや季節の行事食等をオープンキッチンで楽しんでもらえるように工夫し、片付けを一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の状態に合わせて、刻み食、ミキサー食など対応している。お茶などの水分補給が進まない方には、お茶ゼリーや甘みをつけたりして、対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを声掛けし、自分で出来ない方には毎食後介助している。また寝前には義歯の消毒を行い、残歯のある方は、週1回の歯科診療を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄のパターンを職員が共有し、自己にて意思表示のない方も、時間を見てトイレ誘導を行っている。また入居者の仕草や状態を見て、対応している。	個々の排泄パターンを把握し、昼間はトイレでの排泄を基本に支援している。排泄パターンや利用者の仕草等を見て声掛けや誘導・見守り等を行っている。夜間は、身体状況等に応じて、パット交換も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状態を記録し、水分や食事など考慮している。しかし緩下剤に頼ることが多くなっている。排便リズムを観察し、量の調整など細かく行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日や時間は大体決まっているが、マンツーマンで対応できる良い機会なので、興味のある話等を心がけ、楽しい時間になるよう支援している。	週2回の入浴を午後の時間帯で実施し、温泉を楽しんでいる。必要時の2人介助や希望での同性介助に対応し、失禁時は陰洗やシャワー浴で気持ち良く過ごせるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調や生活のリズムに合わせて、休息を促し、気持ちよく睡眠がとれるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服している薬情書を目に付くところに置き、全員で共有できるようにしている。また薬の変更時には申し送りをしっかりし、症状の変化の確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居者に合わせて、出来ることが違うので、個々に合わせて仕事を分担している。また一人に偏らないよう配慮している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>その日の気分で全て出かけることはできないが、ご家族の支援を受けながら、他病院への受診や墓参り、友人親類等への訪問など出来るだけ叶えられるようにしている。</p>	<p>散歩を毎日実施している。花見のドライブや地域の運動会・餅つき大会に出かけている。家族の協力も得ながら、墓参りや外食・自宅訪問・美容院等、できるだけ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で管理されている方はいないが、お祝いや買い物など、必要時使えるよう、ご家族と相談しながら、支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>自分で電話をかける方はいないが、ご家族からかけてもらい、話ができるよう支援している。またご自分で書いた手紙を預かり投函している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンやよしず等で光を調整し、エアコンや加湿器で温度や湿度を調整している。食堂の壁面には、季節の飾りつけや入居者の作品、季節の花などを飾り、季節を感じて頂いている。ソファを置いたり、椅子や畳で過ごせるよう、工夫している。	リビングは、カーテン等での遮光やエアコン・加湿器で適度な室内環境に調整されている。壁に飾られた利用者の季節の作品や行事等の写真で季節を感じたり、座席やソファ等の好みの場所で落ち着いて過ごせるように、席替えや家具の配置を工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者同士の相性を見て席順を決め、少しでも会話がはずんだり、お互いが気楽に過ごせるよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	イスやダンス、飾りなど好みの物を入れてもらったり、ご家族の写真飾ったりして、本人が居心地よく過ごせるよう配慮している。	ベッドや洗面台・クローゼット・エアコンのある居室に、本人の使い慣れたダンスや椅子・テレビ・ラジオ・寝具を持ち込んだり、写真を飾って安心して過ごせる部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりをつけたり、トイレや居室の表示を大きくしたり、各居室前には写真入りのプレートを下げたりして、自分でわかるようにしている。玄関スロープやセンサー設置など、安全面にも配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない